

# 産業環境委員会陳情関連資料

令和 7 年 1 月 29 日

報告事項件名	頁
(1) 足立ブランド再認定の選考基準と進め方について	2

(産業経済部)

# 足立ブランド再認定の選考基準と進め方について

## ＜1次選考基準と考え方＞

### (A) 区内に生産関連現場の実態があるか

取扱製品の主たる生産関連現場が区内に無い場合は対象外とする  
→※後掲事例参照

### (B) 地域で活躍する、優れた製品・技術を持つ企業か

経営者や後継者が、区内工場で常駐的に事業活動や生産等従事しているかどうか  
(地域性の乏しいあるいは企業主の顔の見えにくい大型企業等は対象外とする)

### (C) 企業の信頼性はあるか、またこれまでの実績はどうか

- ① 財務状況、労務管理から客観的に判断する。  
※ 再認定においては、より詳しく経産省が推奨する「ローカルベンチマーク」を活用
- ※ 労務管理については、認定企業より就業規則、36協定届、賃金台帳等で確認
- ② 区内産業の発展、地域社会やSDGsでの貢献度、企業としての将来性

## ＜2次選考基準と考え方＞

### (D) 取扱製品や技術・技能の「優秀性」「先駆性」「独自性」「物語性」はどうか

- ① 「優れた技術・技能」「優れた企画提案力」「製品の業界シェア率」「製品や技術のオリジナル性」「製造に至る背景やエピソード」「生産体制や品質管理体制」をチェックする。
- ② 当該製品や技術の将来可能性も考慮する。

### (E) ブランド活動展開の可能性はどうか（以下の項目のいずれかに該当しそうか）

- ① 足立ブランドを引き立てるほどの魅力ある企業か（技術か製品か）。
- ② 足立ブランド全体会、PR活動への参加実績。
- ③ 「ワークライフバランス」「健康経営」「ユニバーサルデザイン」等の活動実績。

## ＜2次選考の進め方＞

- ◆ 1次選考結果を基に現地実態調査を行い、2次選考資料を作成する。
- ◆ 選考委員会では、その資料を基に質疑応答や意見・感想など、自由討議を行った後、ブランドとして「不適」となるか判定を行う。

## 【参考資料】<1次選考基準>における「区内生産関連現場」の考え方

### (A) 製造業（もしくは製造小売）か、区内に生産関連現場の実態があるか

- \* 非製造業と食品製造業は対象外とする
- \* 取扱製品の主たる生産関連現場が区内に無い場合は対象外とする ※



### ※具体的な事例と判断事由

●対象 ▲対象外

#### <区外に分工場あり、区内に本社あり>

- A. 企画開発・試作は区内社内、量産は分工場、組立・検査も分工場 ●
- B. 企画開発・試作は区内社内、量産は分工場、組立・検査は区内社内 ●
- C. 企画開発・試作は分工場、量産は区内社内、組立・検査も区内社内 ●
- D. 企画開発・試作は分工場、量産は区内社内、組立・検査は分工場 ●

#### <区外に本社あり、区内に支社もしくは工場あり>

- E. 企画開発・試作、量産、組立・検査すべて区内社内 ●
- F. 企画開発・試作は本社、量産は区内社内、組立・検査も区内社内 ●
- G. 企画開発・試作は本社、量産は区内社内、組立・検査は本社 ▲
- H. 企画開発・試作は区内社内、量産は本社、組立・検査も本社 ▲
- I. 企画開発・試作は区内社内、量産は本社、組立・検査は区内社内 ▲

#### <ファブレス系企業、区内に本社あり>

- J. 企画開発・試作は区内社内、量産は外注、組立・検査も外注 ▲
- K. 企画開発・試作は区内社内、量産は外注、組立・検査は区内社内 ●
- L. 企画開発は区内社内、試作&量産は外注、組立・検査も外注 ▲
- M. 企画開発は区内社内、試作&量産は外注、組立・検査は区内社内 ▲

## 1次選考採点表【再認定】

### 申請者

項目		採点	配点	備考
1	区内に生産関連現場の実態があるか ※ 取扱製品の主たる生産関連現場が区内にない場合は対象外	○・×	-	×の場合は対象外
		小計	×だった場合、次に進めない。	

項目		採点	配点	備考
2	地域で活躍する優れた製品・技術を持つ企業か			
2	① 経営者や後継者が、区内工場で常駐的に事業活動や生産等に従事しているか ※ 地域性の乏しいあるいは企業主の顔の見えにくい大型企業等は対象外 ※ 大企業等とは、資本金3億円超または従業員数3000人超の企業（中小企業基本法第2条）	○・×	20	×の場合は対象外 ○の場合は20点
		1 小計	0	20点満点

項目		採点	配点	備考
3	企業の信頼性、これまでの実績	-	-	
3	① 財務状況 ※経産省が推奨する「ローカルベンチマーク（A～D）」活用	4段階		A:20点 B:15点 C:10点 D:5点
3	② 労務管理（個人事業主等に関しては配点項目対象外）	6段階		項目計算（チェックごとに5点の配点） ※30点満点
3	③ 区内産業の発展、地域社会やSDGsでの貢献度、企業としての将来性	5段階		点数計算（1～6点×5）
2	小計		80点満点	

(個人事業主等については50点満点)

1+2 合計 0 100点満点

(個人事業主等については70点満点)

～6割（60点）以上合格（個人事業主等については42点以上合格）～

## 2次選考評価表（再認定）

申請者

評価  
1 - 当てはまらない  
3 -  
5 - 強く当てはまる

判定要素	審査項目	評価点数 1~5	メモ	評価	評価点数*割合	
4 取扱製品や技術・技能の「優秀性」「先駆性」「独自性」「物語性」はどうか	優秀性	①技術・技能	5		20.00%	20
		②企画力	5		10.00%	10
		③ものづくり 企業としての将来可能性	5		10.00%	10
	先駆性	④先行商品の有無	5		10.00%	10
		⑤製品の業界シェア率	5		5.00%	5
	独自性	⑥製品や技術・技能の オリジナル性	5		20.00%	20
	話題性・P R力	⑦製造に至る背景や、 製品のエピソードなど	5		5.00%	5
	生産体制・品質管理体制	⑧製造基盤と品質管理	5		10.00%	10
		⑨企業持続力（年齢/後継 者等）	5		10.00%	10
5 ブランド活動展開の可 能性はどうか（以下の項 目のいずれかに該当しそ うか）	ア 足立ブランドを引き立てるほど の魅力ある企業か	5		2.50%	2.5	(4) 得点
	イ 足立ブランド全体会、P R活動への参加実績	5		5.00%	5	
	ウ 「ワークライフバランス」「健康経営」「ユニバ サルデザイン」等の活動実績	5		2.50%	2.5	

110.00%

110

最終合計

評価点数が6割を上回った場合、再認定とする。